資料3-2

課題シート及び支部健康づくり戦略

「もしも」と「いつも」に安心を。
協会けんぽ

令和８年度第２回全国健康保険協会沖縄支部評議会
（令和８年10月27日）

１．沖縄支部　課題シート

	課題
1	地理的制約と情報伝達の不備により受診機会が限定され、さらに健診後のフォロー不足と予防意識の低さが重なり、生活習慣病の重症化リスクが高まっている。 【地理的制約】離島における健診機関・人間ドック実施機関の不足。また、本土から距離があり、県外からの健診機関の参入が困難。そのことにより受診機会そのものが不足している。 【情報伝達の不備】限定的な移動手段や、不安定な通信環境により離島における特定保健指導が困難で、健診受診後の行動変容につながる支援が弱い。
2	健康意識が低い。食生活の改善及び節酒の必要性があるものの加入者の予防意識が低く、健康を意識した行動変容につながっていない。また若年層に対する補助、介入が不十分で、将来のリスク層への早期介入が弱い。
3	加入者1人当たり医療費（入院）及び受診率（入院）が全国平均を上回っており、疾病分類別1人当たり医療費については、入院・入院外ともに「循環器系の疾患」による影響が大きい。 なお、業態別では、入院・入院外ともに「総合工事業」「医療業・保健衛生」「社会保険・社会福祉・介護事業」の影響が大きい。
4	健診結果及び問診結果について、全16項目中13項目が全国平均を上回っており、メタボ関係（メタボリスク保有率、メタボ予備群、腹囲、ＢＭＩ、体重10kg以上増加者）は全国最下位となっている。 業態別では、メタボ、血圧、脂質、代謝のリスク保有率で、「総合工事業」「その他の運輸業」「飲食料品以外の小売業」「宿泊業」「医療業・保健衛生」「社会保険・社会福祉・介護事業」の影響が大きい。
5	「喫煙者の割合」について、全国平均を下回っているものの、「総合工事業」「宿泊業」「医療業・保健衛生」は全国平均を上回っている。

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

協会けんぽ

２．沖縄支部　健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

沖縄支部健康づくり戦略

Ⅰ）戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。

Ⅱ）戦略概要

沖縄支部では第3期データヘルス計画において循環器系疾患の罹患率低減のため、令和11年度までに加入者（被保険者・被扶養者）のメタボ該当率を低減することを目標とし、健診実施率及び特定保健指導実施率の向上、血圧・血糖・脂質等に着目した未治療者の受診勧奨、健康宣言事業所の拡大やその健康サポート実施などのコラボヘルスの推進に取り組んできました。5者協定（沖縄県・沖縄労働局・沖縄県医師会・協会けんぽ沖縄支部・沖縄産業保健総合支援センター）の枠組みなど関係機関との連携体制や、保健専門人材の充実、部門間の良好な連携といった強みを有する一方、地理的制約による健診機関の不足など、健診・特定保健指導の機会が限られる課題があり、これらの課題が生活習慣病の重症化リスクにつながることが懸念されます。今後は、沖縄県健康増進計画に掲げる目標も踏まえ、肥満の改善や健康経営の更なる推進、市町村等との連携を強化するとともに、地域・職域の特性に応じたポピュレーションアプローチを推進し、健診・保健指導等の保健事業を通じて生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組みます。

２．沖縄支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［個人の特性に応じた支援］

加入者1人当たりの医療費（入院）は全国平均を上回っており、循環器系疾患による影響が大きな要因となっています。また健診結果においてもメタボリックシンドローム関連指標は全国で最も高い水準となっていることから、協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた適時適切な支援を拡充します。

［健康経営の推進］

事業主と連携した健康づくりの取組の充実を図るため、加入勧奨と加入事業所への事後のフォローアップにより健康宣言事業所を拡充するとともに、「うちなー健康経営宣言」事業を展開し、事業主等の健康づくり意識の醸成を図ります。また、加入者の健康増進の向上を図るため「事業所で取り組む禁煙サポート事業」など、健康サポートの取組を実施します。

［健診の拡充］

2026年度から開始した被保険者に対する人間ドック健診等や、2027年度から開始する被扶養者に対する健診拡充等における利用の定着に向けた取組を進め実施率の向上を図ります。また、離島における健診機関及び特定保健指導機関の不足により受診機会が限られている状況を踏まえ、必要な健診・保健指導を受けられる機会の確保に向けた取組を進めます。

［特定保健指導の量・質の向上］

2026年度から人間ドック健診での特定保健指導の実施を必須化したことや、2027年度からの被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進めることにより、実施率の向上を図ります。また、特定保健指導の質の向上を図るべく、効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に取り組みます。

２．沖縄支部　健康づくり戦略（案）

［重症化予防の拡充］
これまでの血圧・血糖・脂質・胸部エックス線検査の結果に基づく取組に加え、2027（令和９）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。

［ヘルスリテラシーの向上］
協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、高血圧をはじめとするメタボリスク対策や事業所に対するメンタルヘルス対策に関するポピュレーションアプローチ、喫煙対策、学齢期からの健康教育の実施等、地域・職域の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

Ⅲ）３年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

［医療提供体制の確保・充実に向けた取組］
県における地域医療提供体制協議会等へ積極的に参画します。地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていきます。

２．沖縄支部　健康づくり戦略（案）

［医療費の適正化］

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。
ジェネリック医薬品について、各種広報やイベント等による啓発活動を通じて使用促進を図るほか、バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。